

甲南法務研究

No.15 2019.3

熊野敏三による「国際法」及び「佛蘭西民法前加巻講義」—— 櫻田嘉章

改正民法における買主の救済手段と解除権規定の編成(1)—— 橋口祐介

環境学からみた政治理論と司法の役割—— 高橋 靖

自賠法16条の直接請求権を訴訟物とする訴訟における
訴訟代理人としての留意点—— 森澤武雄

割賦販売法上の抗弁接続規定の合理性
—— 「契約形式の組替え」論の視点から —— 鈴木尉久

【判例評釈】保証債務不存在確認の訴えが係属中に、主債務が弁済されたため保証債務が消滅したことについて当事者間で争いが無い場合、確認の利益がなくなるとして、訴えを却下した事案
債務不存在確認請求控訴事件 福岡高等裁判所平成26年(ネ)第468号 平成27年3月12日
第3民事部判決 金融・商事判例1474号16頁、判例時報2273号82頁 —— 宮川 聡

【判例評釈】知財高裁平成29年12月25日判決(平成29年(ネ)第10081号 債務不存在確認請求控訴事件
裁判所ウェブサイト(原審：東京地方裁判所・平成28年(ワ)第25969号))
日本の株式会社である控訴人が、日本国内に支店や営業所等を有しないカナダ法人である被控訴人を被告として提起した、
被控訴人が控訴人に対し米国特許権侵害に基づく損害賠償請求権を有しないことの確認を求める訴えにつき、
民訴法3条の9が定める「特別の事情」があるとして却下された事例 —— 上原隆志

【判例評釈】不正競争防止法2条6項の「営業秘密」における秘密管理性
—— 東京高判平成29年3月21日・判タ1443号80頁 —— 黒根祥行